

2022年度東京藝術大学音楽学部

入学試験問題

出題意図等

作曲科（自由作曲）

- ・「出題意図等」とは、出題意図あるいは標準的な解答例のことです。
- ・「出題意図等」についての問い合わせには対応いたしません。

自由作曲【出題意図及び留意点】

- ・ 先ずテーマの軽快な曲想を掴むこと。また冒頭はチェロ（pizz.）が低音を担い、ピアノがその上の音域でテーマを奏すことに留意すること。このことは主要主題の性格を明瞭に表わす。
- ・ フルートの導入と共に、対旋律的なチェロ、和声の移行を示すピアノによる転調部分が続くが、7小節目でのナポリの6とドッペルドミナントに注目して欲しい。今後の音楽の展開に利用可能である。
- ・ 副主題は主要主題とコントラストを成すような、旋律的な楽想が望ましい（例えばチェロによる）。
- ・ 提示部は、和声的に明瞭な主題前半を主体とした音楽の運びが望ましい。
- ・ 展開部では、主題後半の転調部分をより発展させると良いが、再現することを念頭に置いてあまり重苦しいセクションにしない方が曲の一貫性を保てる。
- ・ 楽器法的には、フルートとチェロは音域差があるので冒頭のような配置が可能である。とにかくフルートが中高音域を行き来することに終始しがちなので、低音域を生かすことも考えて欲しい。この3者による様々な配置を工夫して欲しい。